

新旧対照表

新	旧
<p style="text-align: center;">幹線交通検討分科会設置要綱</p> <p>(会長及び副会長)</p> <p>第4条 分科会に会長及び副会長を置き、委員の互選により、これを定める。</p> <p>2 会長は、会務を総括し、分科会を代表する。</p> <p>3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。</p> <p>(会議)</p> <p>第5条 会長は、必要に応じ分科会を招集する。</p> <p>2 会長は、必要に応じ、分科会に委員以外の者を出席させ、説明または意見等を求めることができる。</p> <p>(任期)</p> <p>第6条 委員の任期は2年以内とし、再任は妨げないものとする。</p> <p>(庶務)</p> <p>第7条 分科会の庶務は、自治振興課において処理する。</p> <p>(その他)</p> <p>第8条 この要綱に定めるもののほか、分科会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。</p>	<p style="text-align: center;">幹線交通検討分科会設置要綱</p> <p>(分科会長及び副分科会長)</p> <p>第4条 分科会に分科会長及び副分科会長を置き、委員の互選により、これを定める。</p> <p>2 分科会長は、会務を総括し、分科会を代表する。</p> <p>3 副分科会長は、分科会長を補佐し、分科会長に事故あるときは、その職務を代行する。</p> <p>(会議)</p> <p>第5条 分科会長は、必要に応じ分科会を招集する。</p> <p>2 分科会長は、必要に応じ、分科会に委員以外の者を出席させ、説明または意見等を求めることができる。</p> <p>(任期)</p> <p>第6条 委員の任期は、第1回分科会の開催日から平成23年3月31日までとする。</p> <p>(庶務)</p> <p>第7条 分科会の庶務は、大竹市市民生活部市民課において処理する。</p> <p>(その他)</p> <p>第8条 この要綱に定めるもののほか、分科会の運営に必要な事項は、分科会長が別に定める。</p>

幹線交通検討分科会設置要綱

(目 的)

第1条 大竹市地域公共交通活性化協議会規約第11条の規定に基づき、幹線交通の整備内容等について検討するため、「幹線交通検討分科会」(以下「分科会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 分科会は、次に掲げる事項について検討を行い、大竹市地域公共交通活性化協議会(以下「協議会」という。)に提案を行う。

- (1) 幹線交通の運行に係る基本事項
 - ア 運行ルート
 - イ 運行車両
 - ウ 乗降施設(停留所)の位置
 - エ 運行ダイヤ
 - オ 運賃
- (2) 利用促進の手法
- (3) 運行内容の評価・改善方法
- (4) その他、協議会が必要と認めたもの

(組織)

第3条 分科会は、自主的かつ主体的に参加し、活動する者をもって委員とし、組織する。

(会長及び副会長)

第4条 分科会に会長及び副会長を置き、委員の互選により、これを定める。

2 会長は、会務を総括し、分科会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 会長は、必要に応じ分科会を招集する。

2 会長は、必要に応じ、分科会に委員以外の者を出席させ、説明または意見等を求めることができる。

(任期)

第6条 委員の任期は2年以内とし、再任は妨げないものとする。

(庶務)

第7条 分科会の庶務は、自治振興課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、分科会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年2月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月27日から施行する。